

目 次

日本語版への序文 i

序 章 I

第 1 章 資本主義, 市民権, 連帯 7

市場資本主義と自由放任 7

連 帯 11

企業福祉と財政福祉 15

社会的市民権 18

結 論 22

第 2 章 社会政策の発展を説明する——理論的視角 25

産業化論 26

国民の価値観 28

権力資源 30

経営者の権力 33

歴史的制度論 36

結 論 39

第 3 章 各国を分類する——福祉レジーム再考 41

福祉資本主義の3つの世界 43

福祉レジームをジェンダー化する 49

先進福祉国家を超えて 53

結 論 62

第 4 章 社会政策におけるアイデアの役割を重視する 65

アイデアを定義する 66

問題定義 67

政策パラダイム 69

フレーミング過程 72

文化と言語 75

アイデア, 制度, 社会政策の変化 77

結 論 79

第 5 章 社会的排除, 新しい社会的リスク, 社会的投資 81

社会的排除 82

新しい社会的リスク 85

社会的投資 87

結 論 91

第 6 章 福祉レジームが輪郭を与えるジェンダー規範の変化 95

脱家族化? 96

共稼ぎ家族規範へ? 102

国境を越えたケアの連鎖 108

結 論 114

第 7 章 社会政策と多様性をめぐる政治 117

多様性は福祉国家の発展を阻害するか 118
多様性の増大, 承認の要求, 福祉国家の未来 122
ナショナリズムと社会政策 127
結 論 131

第 8 章 グローバル化と社会政策 135

グローバル化, 危機, 福祉国家の終焉? 136
グローバル社会政策 140
国境を越えた社会ガバナンス 147
結 論 154

終 章 157

訳者あとがき 163
参 考 文 献 169
索 引 208

序 章

急速に変わりゆく世界のなかで、社会政策は、従来の前提を問い直すような、新たな社会的・経済的・政治的・理論的課題に取り組まなければならない。グローバル化や移民の増加からジェンダー規範や家族構造の変化に至るまで、今日の社会政策システムが直面する課題は困難なものである。こうした状況のもとでは従来の考え方に囚われていてはだめで、20年前なら社会政策の研究者や実務家が見落としていたかもしれない問題を考慮に入れる必要がある。社会政策という研究分野は、世界の変化に適応していかなければならず、グローバルな動向と、依然として残る国ごとの違いの両方に注意しなければならない。

本書の目的は、従来の社会政策の古典的洞察を放棄することなく、しかも新たな現実を考慮に入れて、この分野の簡潔な概観を提供することである。したがって、本書は古典と現代の両方の理論や概念を用いて、既存の社会政策の仕組みを揺るがし新たな研

究上の問いを提起している幅広い過程（脱工業的な社会経済構造への移行や、さまざまな次元におけるグローバル化など）に光を当てる。一方、こうした過程は、ジェンダー関係の変化や、国民のなかの民族的・人種的・言語的多様性の増大、さらには社会政策のイノベーションの実験場としての途上国（グローバルサウス）の重要性の増大、といった事柄が社会政策にもたらす影響を評価する際の背景説明にもなっている。本書はまた、社会政策の形成におけるアイデアの役割にもっと注意を払うべきだという論陣を張る。最後に、本書は、この分野を伝統的に特徴づけてきた方法論的ナショナリズム〔分析の単位を国民国家に限る見方〕を克服し、国境を越えたアクターの役割に注目することで、比較社会政策研究をさらに実り豊かなものになりたい。国境を越えたアクターは、社会政策の選択肢を決めているだけでなく、不十分ながらグローバル社会政策の仕組みの土台を築く役割を果たしている。

本書は、最新の課題の重要性を強調しつつも、現代福祉国家の出現をもたらした諸要因を無視するものではない。それゆえ、第1章では、資本主義的産業社会への移行によって生じたさまざまな圧力からいかにして社会政策が生まれてきたかを理解させてくれる4人の古典的思想家——カール・ポランニ、エミール・デュルケーム、リチャード・ティトマス、T. H. マーシャル——の貢献を検討する。第2章では、各国がそれぞれ異なる福祉国家を発展させてきた理由を説明しようとする、もっと詳細な諸理論を概観する。それらの理論は今なお重要な洞察を含むものではあるが、特定のアクター（とりわけ労働組合、左派政党、経営者団体）の役割を重視して他のアクター（女性や民族的・人種的・言語的マイノリティ）を軽視したり、制度（国家構造や政策遺産）を重視してアイデ

イアの重要性を見落としがちだったりする点で限界がある。こうした理論はまた、主として欧米諸国だけに注目し他の国々をほとんど無視しており、社会政策が主として国家スケールで実施されることを自明視していた。

第3章からは、こうした限界を乗り越えて進む。まずは政策研究へのイエスタ・エスピン－アンデルセン（Esping-Andersen 1990, 1999）の重要な貢献（『福祉資本主義の3つの世界』の類型論）に関する議論から始めるが、それだけでなく、フェミニスト理論家が提出した代わりの類型や概念も検討する。第3章と第6章では、脱工業化にともなう性別役割分業規範から共稼ぎ家族規範への移行によって生じた課題について探究する。また、各国社会がこの重要な変化をどのようにどこまで受け入れるかを左右する社会的要因や理念的遺産についても検討する。

第3章では、欧米諸国だけでなく、途上国に出現したか出現しつつある福祉レジームの多様性に視野を広げた学者たちの洞察についても論じる。こうした研究が大事なのは、エスピン－アンデルセンが発見した「3つの世界」——自由主義レジーム・保守主義レジーム・社会民主主義レジーム——以外の世界があることを示しているからという理由だけではない。条件付現金給付（CCTs）〔子女の就学や受診などを条件に給付を行なう制度〕や社会年金〔146頁参照〕に関する研究が示すように、途上国は政策イノベーションの重要な実験場となっている。さらに、そうしたイノベーションが大規模なインフォーマル部門の存在から生じた課題に取り組むものである場合、それは潜在的に先進国（グローバルノース）の関心事でもある。というのは、先進国もまた、不安定労働の蔓延によって同様の問題に直面しているからである。

民族的・人種的・言語的多様性に関する新しい研究潮流もある。そうした多様性は福祉国家の発展に影響を及ぼす——古典的事例として、米国では人種的分断が社会保障給付の限定性の一因になっている——だけでなく、本場西欧の福祉国家の未来にさえ影響を及ぼしているのだ。第7章ではこの課題を取り上げる。「国民」の捉え方の違いによって、人種的「他者」に社会権が認められるか否か、またどの程度まで認められるかが左右される、というフィオナ・ウィリアムズ (Williams 1995) の重要な洞察が出発点になる。それゆえ、米国の経験を他の「白人入植者」社会と比較する。米国のパターンに追随する国もあるが、カナダ、ニュージーランド、さらにスウェーデンなどでは、社会政策は非白人を支配的文化に同化する手段の一つとなった。同じ章では、ベルギー・カナダ・スペイン・英国などにおける地方ナショナリズムの復興によって生じた社会政策の課題も取り上げる。

第7章では、最近の移民の波（主として途上国から先進国へと向かう、亡命希望者・難民・不法就労者などの混成）が既存の福祉国家、とりわけ西欧の福祉国家にもたらす課題も探究する。そうした「他者」の存在そのものが「福祉排外主義」〔社会保障の対象を自国民に限るべきだとする主張〕を綱領に掲げる極右政党の勃興を促してきた、と言う人もいる。各種の多文化主義を受け入れることで福祉国家の維持に必要な社会連帯が蝕まれてしまうのではないかと問う人もいる。しかし同時に、移民は、技能の低い人も含めて、高齢化する先進国の労働需要を満たすために必要とされてもいる。例えば「グローバルなケアの連鎖」が形成され、かつて保育と介護を無償で担っていた主婦・母・娘に代わって、移民がケア労働を担うようになった（この点は第6章で論じる）。

国境に基づく社会権の考え方は、移民の増大、グローバルな貧困と不平等の再発見、気候変動の社会的影響などの挑戦を受けている。それがグローバル社会政策という新たな研究領域の創設を促し、比較社会政策研究は方法論的ナショナリズムを克服しつつある。この分野の先駆者の一人であるディーコンによれば、グローバル社会政策研究には2つの側面がある。第一は、国際機関やシンクタンク、多国籍の運動ネットワーク、国際NGOなどが表明し流布させる社会政策の処方箋に関する研究である。第二は、国境を越えて出現した社会問題に関する研究であり、グローバルな解決策とそれを実行するためのガバナンス構造の探求である (Deacon 2007)。これらの課題は第8章で取り上げる。

本書全体を通して、アイデア〔理念〕の役割を強調したい。例えば第2章では、福祉国家の発展パターンの分岐の説明にあたって国民の価値観に焦点を当てる理論を扱う。今日の社会政策研究者も、政治行動や政策発展の説明にあたって、深く埋め込まれた文化的前提の分析に依拠するようになった。第4章ではアイデアが話題の中心になる。特定の問題定義を打ち出す際にアイデアが果たす役割を検討し、ある政策案を必要かつ正当だと受け取られるように組み立てるために、アイデアがどのように使われるかを論じる。政策パラダイムは、政策構想の設計や利害関心の構築においても重要な役割を演じている。複数の政策パラダイム間の違いを見分けることは、重要な政策転換を突き止めるにも役立つ。第5章では、社会的排除、社会的投資、新しい社会的リスク、という今日の三大アイデアについて論じる。最初の2つは幅広い政策概念であり、政治的構築物としても機能している。その意味で、福祉国家の改革に不可欠な議題設定の過程を方向づ

けるのに役立つものである。新しい社会的リスクのほうはもっと学術的な概念であり、脱工業化によって生じた諸課題を強調するものである。それは、第1章で論じるような幅広い背景説明となるアイデアに近い。本書ではアイデアの役割を強調するが、アイデアは他の要素と相互作用するものだとすることを忘れてはならない。アイデアは社会的アクターによって考案され、制度的舞台設定のなかで機能する。その制度的舞台設定は、さらに幅広い構造的要因の影響を受けている。

本書のような小著では、社会政策のすべての現代的課題を網羅できないのは言うまでもない。また、本書で触れる多くの主要課題を十分に掘り下げることが不可能である。本書が読者に差し出すのは社会政策が提起する多くの重要課題の探究への招待状であり、あわせて、社会政策研究において長らく周縁に押しやられていた重要な話題への注目を促したい。

訳者あとがき

本書は、Daniel Béland and Rianne Mahon, *Advanced Introduction to Social Policy*, Edward Elgar, 2016. の全訳である。2023 年中には原書第二版が出版される予定で、原著者の好意により第二版の原稿も検討したが、簡潔な初版のほうに準拠することとした。第二版のメッセージの一部は、原著者による「日本語版への序文」にも盛り込まれている。

本書は社会政策研究の世界標準を示す最新の入門書である。社会政策を専攻する大学院生は、本書を通して、最近の国際学会や国際雑誌でどのような話題が論じられているかを一望できる。学生だけでなく他分野の専門家も、社会政策という研究分野の魅力や基本的な考え方を知ることができるだろう。社会学、ジェンダー論、移民研究、比較政治学、国際関係論、国際開発学などの参考書としても面白く読んでいただけるはずである。

一般読者には、変わりゆく世界を捉え、世界を変えてゆく手がかりとしていただければ幸いである。本書は社会政策の研究手法として、政策変化においてアイデアが果たす役割に注目することを提案している。しかし、これはたんなる研究方法に留まらない。閉塞状況を打破しようとする政治家や官僚、政策起業家に行動のヒントを提供することになるかもしれない。企業経営者やジャーナリストにも、ぜひ手に取っていただきたいと思う。

著者の一人ダニエル・ベランは、社会政策を中心とする公共政

策の研究者であり、福祉国家再編の政治学的な論理を捉える研究に取り組んでいるほか、本書でも詳説されている、政策変化におけるアイデアの役割や政策フィードバックに関する研究で世界をリードしている。1999年にフランス社会科学高等研究院で政治社会学の博士号を取得した後、カルガリー大学准教授、サスカチュワン大学教授などを経て、2019年にはマギル大学カナダ研究所長に就任し、あわせて同大学政治学部ジェイムズ・マギル教授を務めている。2014年から2023年まで、世界社会学会社会政策部会（ISARC19）の会長を務めた。

もう一人のリアン・マホンは、比較社会政策学者であり、福祉レジーム再編における保育の位置づけに関する比較政治学的研究や、移民ケア労働者に対するグローバル社会政策のジェンダー分析のほか、本書にも登場する、スケール横断的なガバナンスをめぐる考察で著名である。トロント大学で政治学の博士号を取得した後、カールトン大学公共政策・行政学部教授を経て同大学政治経済研究所長を務めた。2010年には、バルシリー国際問題大学院CIGIチェアおよびウィルフリッド・ローリエ大学政治学部教授に就任した。現在はカールトン大学特別研究名誉教授である。2019年にはカナダ王立協会会員に選ばれた。

本書の構成を見ると、少し前の社会政策の教科書とかなり印象が違うことに驚かれるかもしれない。途上国の福祉に多くのページを割くとともに、ジェンダー、エスニシティ、グローバル社会政策といった多岐にわたるテーマを扱っている。原著者は本書の構成について理論的な説明を与えていないが、訳者から見ると、本書のような展開には、たんに学界の研究動向をなぞっただけで

はない論理的必然性があるように思われる。

つまり、第1章で説明されているように、先進福祉国家は資本主義（経済的不平等をもたらす）と民主主義（社会的平等を要請する）の間の矛盾を調停するために登場したが、政治共同体としての国民国家や、当時の家父長制家族を前提としていた。その意味で、エスニシティやジェンダーの問題が取り上げられるのは、社会政策が無自覚に依拠していた前提への問い直しである。新興国や途上国に視野を広げれば、資本主義と民主主義の関係はさらに多様な相貌を呈し、問題への対応はスケール横断的なグローバル社会政策として展開されざるをえない。さらに、終章でわずかに言及されているように、現在では人間のウェルビーイングと惑星の限界の関係が意識され、社会正義と環境保護の両立可能性が問われている（ゴフ 2023）。コロナとウクライナで時代は一回転し、脱グローバル化の徴候さえ窺われるが、資本主義と民主主義が展開していく限り社会政策の課題が消え去ることはない。

日本の読者から見ると、本書のなかの日本に関する記述に違和感を覚えるかもしれない。訳者もそうなのだが、いちいち訂正や註釈を加えることはしなかった。日本の社会政策学者としては残念なことに、130年の伝統を誇る日本の社会政策学の成果は本書に一つも引用されていない。本書を読んだ大学院生や若手研究者が、日本の知的伝統と社会的現実をふまえつつ、世界と対話できるような研究成果を発信してくれることを願ってやまない。

ここで少しだけ、訳者の個人史に触れることをお許しいただきたい。1994年に日米仏の家族政策言説を比較する卒業論文を書いたが、本書第4章の研究枠組を知っていればもっと面白く展開

できたに違いない。アジア経済危機後の世界銀行の政策処方箋に疑問を感じ、2003年にはワシントンの世銀本部までインタビューに出かけたが（大沢ほか 2004）、実力不足で全体像をつかめなかった。本書144～145頁の説明を読んで謎が氷解した。何よりも、1997年以来エスピン＝アンデルセンの福祉レジーム論を東アジアに拡張しようと奮闘してきた立場からすると（上村 1999, 2015）、本書第3章第3節の広がりには深い感慨を覚える。と同時に、本書に引用されるような英語論文を発信できなかったことが悔やまれる。原著者の勉強ぶりと対照的な訳者の怠惰を顧みて忸怩たるものがある。

本書を訳すことにしたきっかけは、原著者の一人ダニエル・ベランさんとの出会いである。2011年、ソウル大学で開催されたISARC19の朝食会場でベランさんに会い、同学年と知って親しく話すようになった。当時ベランさんはRC19の事務局を務めていたが、日本から一人で参加した心細げな訳者を笑顔で迎え入れてくれた。その後、2018年のISAトロント大会の書籍販売コーナーで原書を見つけ、ベランさんに翻訳を申し出た。2019年春学期の名古屋大学文学部の講読テキストに指定して毎週の授業後にどんどん訳し、夏休みに環境学研究科の客員教員として招聘したベランさんに疑問点を質してすぐに出版に持ち込むつもりだったが、訳者の生活態度ではそんなに計画通りに進むはずはなかった。それから4年もの歳月が流れてしまったことを、原著者と出版社にお詫びしなければならない。

本書の訳稿に対して、新井美佐子、石黒暢、遠藤知子、加藤雅俊、鎮目真人、白波瀬達也、鈴木恭子、高橋誠、田中弘美、平岡

公一，福井康貴，吉岡詩織，の各氏から貴重なコメントをいただいた。原著者のお二人にも，細かな問い合わせに親切に応じていただいた。皆様のおかげで訳文は飛躍的に改善されたが，なお残る誤謬や難読は言うまでもなく訳者の責に帰するものである。名古屋大学の文学部と環境学研究科で原書を用いた講読や演習を繰り返したが，いま振り返るとずいぶん間違った訳を教えていたかもしれない。受講者諸君の忍耐にも感謝したい。

有斐閣の松井智恵子さんに同窓の誼で本書を売り込んだところ，慎重に検討のうえ会社の会議にかけてくれた。また，堀奈美子さんは，行き届いた編集作業で本書を無数のエラーから救って下さった。ありがとうございました。

2023年4月13日

上村 泰裕

参考文献

- ゴフ，イアン（上村泰裕訳）（2023）「持続可能な福祉のための二つのシナリオ——環境社会契約のフレームワーク」『社会政策』14（3）：pp. 52-63.
- 上村泰裕（1999）「福祉国家形成理論のアジア NIEs への拡張」『ソシオロギス』23：pp. 232-248.
- 上村泰裕（2015）『福祉のアジア——国際比較から政策構想へ』名古屋大学出版会．
- 大沢真理・上村泰裕・宮本太郎・澤田ゆかり・埋橋孝文（2004）「座談会 アジア諸国の福祉戦略をめぐって」大沢真理編『講座・福祉国家のゆくえ4・アジア諸国の福祉戦略』ミネルヴァ書房．

索引

◆アルファベット

- AFDC (要扶養児童家庭扶助)
(Aid to Families with Dependent Children) 76, 119, 124
- ASEAN 市民社会会議 (ASEAN Civil Society Conference) 152
- DAC (OECD 開発援助委員会) (Development Assistance Committee, OECD) 148, 149
- ECLAC (国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会) (Economic Commission for Latin America and the Caribbean) 152, 156
- EU (欧州連合) (European Union) 83, 84, 90, 92, 93, 107, 130, 142, 155, 160
- ILO (国際労働機関) (International Labour Organization) 136, 144, 146-151, 154, 155
- IMF (国際通貨基金) (International Monetary Fund) 130, 136, 138, 142, 150, 151
- LGBTの権利 (LGBT rights) 160
- MDGs (ミレニアム開発目標) (Millennium Development Goals) 147-149, 154, 155
- NGO (非政府組織) (non-governmental organizations) 5, 145, 146,

149, 150, 155

- OECD (経済協力開発機構) (Organisation for Economic Co-operation and Development) 42, 43, 53, 90, 92, 107, 132, 142, 161
- UNDP (国連開発計画) (United Nations Development Programme) 57, 148
- UNICEF (国連児童基金) (United Nations Children's Fund) 136, 152

◆あ行

- アイスランド (Iceland) 102, 137
- アイディア (ideas) 2, 5, 6, 9, 11, 13, 14, 19, 20, 30, 65-79, 89, 90, 92, 95, 107-109, 115, 122, 125, 135, 136, 141-145, 158, 159, 163, 164
- アイデンティティ政治 (identity politics) 122
- アイルランド (Ireland) 43, 47, 50, 137
- アーヴィング, ゴーイ (Irving, Zoë) 137
- アジア金融危機 (Asian financial crisis) 60, 139, 166
- アジア諸国 (Asian countries) 42, 54, 57-60, 103, 137, 139, 166
→中国, 日本, 韓国も参照

- アジア民衆アドボカシー連帯 (Solidarity for Asian Peoples Advocacy) 152
- 新しい社会的リスク (new social risks) 5, 76, 81, 85-87, 92, 93, 102, 103, 137, 138
- 新しい労働党 (New Labour) 84
- アトリー, クレメント (Atlee, Clement) 19
- アナン, コフィ (Annan, Kofi) 148
- アフリカ (Africa) 42, 57, 126, 127, 129, 130, 139
- アフリカ系米国人 (African Americans) 119, 131
- アルゼンチン (Argentina) 60-62, 108, 139
- アルゼンチン危機 (Argentinean crisis) 139
- アレシナ, アルベルト (Alesina, Alberto F.) 117, 119
- イエイツ, ニコラ (Yeates, Nicola) 145, 146, 154
- 育児休業 (parental leave, child care leave) 50, 52, 102-104, 106
- イスラム教 (Islam) 125, 128
- 依存 (dependency) 46, 50-52, 57, 68, 76, 97, 98, 100, 113, 125
- イタリア (Italy) 106, 110, 137, 138
- 一次的变化 (first order change) 70, 71, 114
- 移民 (migration, immigrants) 1, 4, 5, 22, 108-113, 115, 117, 118, 122-128, 131, 132, 135, 146, 147, 152, 153, 158, 160
- 移民受入レジーム (incorporation regimes) 124, 125
- 移民ケア労働者 (migrant care workers) 110, 111, 115, 164
- 移民女性 (migrant women) 108, 113
- 移民の権利 (migrants' rights) 147, 152
- 移民レジーム (migration regimes) 110
- 医療 (health care) 15, 19, 29, 38, 46, 47, 54, 58, 59, 65, 86, 90, 121, 129, 130, 149, 156
- 院外救済 (outdoor relief) 8
- インド (India) 54, 131
- インドネシア (Indonesia) 139
- インフォーマル-家族主義レジーム (informal-familialist regimes) 113
- インフォーマル部門 (informal sector) 3, 47, 56, 60, 61, 110, 112, 116, 146
- インフォーマル保障レジーム (informal security regimes) 57
- ヴァンホーレン, フランカ (Van Hooren, Franca) 110
- ウィーヴァー, ケント (Weaver, R. Kent) 39
- ウィリアムズ, フィオナ (Williams,

- Fiona) 4,63,110,117,157
- ウィレンスキー, ハロルド (Wilensky, Harold) 26,27,43
- ウィンコット, ダニエル (Wincott, Daniel) 106,115
- ウォン, ジョセフ (Wong, Joseph) 60
- ウッド, ジェフ (Wood, Geof) 56,57
- 右派ポピュリズム (right-wing populism) 125,160
- ウルグアイ (Uruguay) 60,61
- 英国 (United Kingdom) 4,8, 9,15-17,19,22,29,35,38,43, 47,50,53,77,84,88,103-106, 124,125,128-130,137,138,160
- EU 離脱国民投票 (EU membership referendum) 160
- 英国独立党 (UKIP) 128
- 緊縮財政 137,138
- 金融危機 137
- コミュニケーション的言説 77
- 社会的排除 84
- 自由主義レジーム 43,53,103, 124,
- 政治権力 38
- 男性稼ぎ手レジーム 50
- 地方ナショナリズム 129,131
- 保育サービスと育児休業 103
- 英語圏諸国 (Anglophone countries) 47,48
- エステヴェス-アベ, マルガリータ (Estévez-Abe, Margarita) 60,106
- エストニア (Estonia) 59
- エスピン-アンデルセン, イエスタ (Esping-Andersen, Gøsta) 3,30-33,40-49,51,52,54,57, 59,62,63,89,96-98,102,105, 109,114,115,166
- 権力資源論 30
- 脱家族化 52
- 脱商品化 51
- レジーム 43-46
- エリングゼーター, アンネ・リセ (Ellingsaeter, Anne Lise) 115
- 欧州 (Europe) 9,18,19,27, 29,37,47,62,83,84,117,119, 126,131,132,137,138,144,152, 158,160
- 欧州委員会 (European Commission) 138
- 欧州債務危機 (European sovereign debt crisis) 137
- 欧州左派 (European left) 119
- 欧州中央銀行 (Central European Bank) 138
- オキュパイ運動 (Occupy Movement) 161
- オコナー, ジュリア (O'Connor, Julia S.) 49,52,53,97,103
- オストナー, イローナ (Ostner, Ilona) 108
- オーストラリア (Australia) 11, 35,42,43,47,53,103,104,106,

- 118, 121, 124, 125, 132, 138
- オーストリア (Austria) 56, 58, 103, 110, 119, 120
- オバマケア法 (Affordable Care Act) 29
- オポルトゥニダデーズ (Opportunities) 58, 61, 63, 139
- オランダ (Netherlands) 119, 120, 125, 138
- オリヴァー, レベッカ (Oliver, Rebecca) 106, 107
- オリヴィエ, セシリア (Olivier, Cecilia) 152
- オルロフ, アン・ショラ (Orloff, Ann Shola) 36, 49, 51, 97
- ◆か行
- カー, クラーク (Kerr, Clark) 26
- 階級不平等 (class inequality) 18, 20, 21, 30, 44
- 外国人嫌いのナショナリズム (xenophobic nationalism) 126, 127
- 階層化 (stratification) 41, 44, 46, 51, 55, 57, 60, 124
- 階層化された普遍主義レジーム (stratified universalist regime) 60
- 開発援助 (development assistance) 112
- カウフマン, ロバート (Kaufman, Robert) 58
- 科学的パラダイム (scientific paradigms) 70, 71
- 核家族 (nuclear family) 113
- 家族 (family) 1, 9, 10, 14, 15, 17, 21, 26, 31, 43, 46, 49-53, 55-57, 59, 60, 87, 96-105, 109-113, 123-125, 132, 153
- 家族規範 (family norms) 3, 95, 99, 102, 109
- 家族給付 (family benefits) 46
- 家族主義 (familialism) 53, 59-61, 63, 96, 100-102, 110
- カッツ, マイケル (Katz, Michal) 76
- 家庭内ケア (domestic care) 51, 53, 104, 108-110
- 家庭内ケア労働者 (domestic workers) 109, 110
- ガーナ (Ghana) 129
- カナダ (Canada) 4, 19, 29, 35, 38, 43, 47, 48, 53, 102-104, 106, 111, 119-122, 124, 125, 127, 129-132, 138, 155
- 育児休業 103, 106
- 緊縮財政 138
- 国民の価値観 29
- 住み込み介護者制度 111
- 先住民の権利 122
- 多文化主義 122, 127
- 地方ナショナリズム 129
- 共稼ぎ家族 53, 104
- 保育政策と育児休業政策 106
- 連邦制の影響 38, 120

- ガバナンス (governance) 5,93,
136,147,149,152-154,158,164
- カリフォルニアガールズ (California
Girls) 144
- 環境戦略 (green scenarios) 146
- 環境問題 (environmental issues)
160,165
- 関係の自律 (relational autonomy)
99
- 韓国 (Korea) 54,60,103,106,
107,139
- ギエン, アナ (Guillén, Ana)
138
- 機械的連帯 (mechanical solidarity)
12
- 危機 (crisis) 69
- 基礎的普遍主義 (basic universalism)
32,61,154
- 規範的目標 (normative goals)
70
- キム, キテ (Kim, Ki-tae) 62
- キム, ヨンスン (Kim, Yeong Soon)
60,106
- キャッスルズ, フランシス (Castles,
Francis) 47,48
- 救貧法 (イングランド) (Poor Laws
(England)) 8,18
- 給付 (benefits)
医療給付 (health benefits)
160
給付への平等なアクセス (equal ac-
cess to benefits) 19,128,
149,160
- 福利厚生給付 (occupational bene-
fits) 15
- 普遍主義的給付 (universal bene-
fits) 43,45
- 教育 (education) 13,15,58,
60,86,88-90,100,121,126,127,
129,130,132,147,148,155
- 共同責任協定 (オーストラリア)
(shared responsibility agree-
ments (Australia)) 121
- 極右政治運動 (far-right political
movements) 126-128
- 極右政党 (ultra-right parties)
4,83,127
- キリスト教民主主義 (Christian
democracy) 114
- キングダム, ジョン (Kingdon, J.
W.) 65,66
- 緊縮財政 (austerity) 136-140,
154
- 金本位制 (gold standard) 9
- 金融危機 (financial crisis) 60,
109,136-139,150,154
- 空間 (spaces) 114,115
- クーネ, マールテン (Keune, Maar-
ten) 115
- クライエンテリズム (clientelism)
47,55,57,58,62,63,106
- クラウチ, コリン (Crouch, Colin)
115
- グレイザー, エドワード (Glaeser,
Edward L.) 117,119
- グレンディニング, キャロライン

- (Glendinning, Caroline) 52, 63
- グローバリズムと社会政策プログラム (Globalism and Social Policy Programme, GASPP) 149
- グローバル化 (globalization) 1, 2, 48, 54, 135-137, 146, 149, 151-154
- グローバル化の社会的次元に関する世界委員会 (World Commission on the Social Dimensions of Globalisation) 149
- グローバルガバナンス (global governance) 154, 158
- グローバル社会ガバナンス (global social governance) 149, 154
- 『グローバル社会政策』(ディーコンほか) (*Global Social Policy* (Deacon et al.)) 135, 140
- グローバル社会保護フロア (global social protection floor) 148, 149, 154
- グローバル都市 (global cities) 153
- グローバルなケアの連鎖 (global care chains) 4, 108, 113, 158
- クワダグノ, ジル (Quadagno, Jill) 33
- クーン, トーマス (Kuhn, Thomas) 70
- ケア (care) 50, 51, 53, 96-105, 107-113, 115-117
- ケア移民 (care migrants) 112
- ケアの危機 (care crisis) 109
- ケアレジーム (care regimes) 110
- ケア労働者 (care workers) 96, 109
- 経営者の権力 (business power) 25, 33-35
- 経済的自由 (economic freedom) 9, 20
- 経済的不平等 (economic inequality) 153, 161, 165
- 経済パラダイム (economic paradigms) 70
- ケイヒル, マイケル (Cahill, Michael) 160
- 経路依存性 (path dependency) 39, 41, 49, 55, 58, 62, 66, 96
- 経路転換的変化 (path-shifting change) 58, 60, 62, 96, 108, 111
- ケインズ主義の政策パラダイム (Keynesian policy paradigm) 70, 88
- ケック, ウォルフガング (Keck, Wolfgang) 98, 100, 116
- ケベック (Quebec) 103, 129
- ケベック党 (Parti Québécois) 129
- 現金給付への平等なアクセス (equal access to cash benefits) 160
- 言語 (language) 66, 75, 78, 81, 85

- 言語的多様性 (linguistic diversity) 2, 4, 117, 118, 120
- 減算の再調整 (subtractive recalibration) 138
- 現実型 (real types) 115
- 言説的制度論 (discursive institutionalism) 77
- 言説フレーム (discursive frames) 72, 73
- 権利 (rights) 20-22, 44, 50, 51, 56, 58, 99-101, 116, 122, 123, 125, 127, 130, 132, 133, 146, 147, 152, 160
- 権力資源論 (power resource theory) 25, 30-33, 35, 36, 40, 45, 87, 105, 119, 159
- 公正 (equity) 15, 16, 116
- 構造調整プログラム (structural adjustment programs) 130
- 公民権 (civil rights) 20, 21, 119
- 公民権運動 (米国) (civil rights movement (US)) 119
- 合理的選択制度論 (rational choice institutionalism) 106
- 高齢者ケア (elder care) 110, 111, 116
- 国際機関 (international institutions) 5, 90, 92, 135, 137-141, 143-146, 152, 153, 155, 158
- 国際金融機関 (IFIs, international financial institutions) 136, 147, 149-151, 154
- 国際自由貿易 (international free trade) 9
- 国民 (nation) 2, 4, 14, 19, 36, 56, 58, 74, 90, 120, 126-130, 157
- 国民アイデンティティ (national identity) 127
- 国民国家 (nation state) 2, 20, 56, 120, 158, 165
- 国民戦線 (フランス) (Front National (France)) 83, 93, 127
- 国民の価値観 (national values) 5, 25, 28-30
- 国民保健サービス (英国) (National Health Service (UK)) 19, 128
- 国連 (United Nations) 95, 136, 147-150, 152
- 互酬的依存 (reciprocal dependency) 13
- 個人化 (individualization) 97, 100, 101
- コスタリカ (Costa Rica) 60, 61, 63
- 国家 (the state) 2, 3, 7-10, 12, 14, 17, 20-22, 29, 31, 36-38, 43, 45-47, 51, 55, 56, 59, 60, 63, 67, 76, 92, 95, 98, 106-108, 113, 119, 120, 127, 130, 136, 144, 147, 150
- 国家介入 (state intervention) 23, 26
- 国家の自律性 (state autonomy) 36, 37
- 国境 (national boundaries)

- 5,55,107,130,135,140,143,
146,147,152,153,157,158
- 国境を越えたアドボカシーネットワ
ーク (transnational advocacy
networks) 146
- 国境を越えたケアの連鎖 (trans-
national care chains) 96,
108,109
- 国境を越えた市民権 (transnational
citizenship) 146
- 国境を越えた社会ガバナンス
(transnational social govern-
ance) 147
- 国境を越えた政策学習 (transnation-
al policy learning) 107
- コックス, ロバート・H (Cox,
Robert H.) 72,92
- ゴードン, リンダ (Gordon, Linda)
33,68
- ゴフ, イアン (Gough, Ian) 56-
58,160,165
- コミュニケーション的言説 (com-
municative discourse) 77
- コミュニティ部門 (community sec-
tor) 55-57
- 雇用 (employment) 46,47,
54,58,83,95,97,101,112
完全雇用 (full employment)
45
雇用と教育 (employment and edu-
cation) 86
雇用レジーム (employment regimes)
110
- コルピ, ウォルター (Korpi, Walter)
30-33,35,105,142
- コンサルティング会社 (consulting
companies) 146
- ◆さ行
- 財政的再分配 (fiscal redistribution)
161
- 財政福祉 (fiscal welfare) 15-17
- 最低保証所得 (guaranteed minimum
income) 161
- 再分配 (redistribution) 20,31,
32,44,48,118,123,128,141,
142,147,154,161
- 再分配と承認のジレンマ
(‘redistribution-recognition’
dilemma) 122
- サッチャー, マーガレット
(Thatcher, Margaret) 88
- 左派政党 (left-leaning parties)
2,30,32,46,105,119,120
- サバテッリ, ステファニア
(Sabatelli, Stefania) 106
- サハラ以南アフリカ (sub-Saharan
Africa) 57,129
- 差別 (discrimination) 49,53,
68,76,82,84,101,110,126,131
- サマーズ, ローレンス (Summers,
Lawrence) 144,145
- サーミ人 (Sami) 120,121
- サラチエーノ, キアラ (Saraceno,
Chiara) 98,100,116
- 産業化論 (industrialism) 25-29,

- 36,65,92,159
- 三次の変化 (third order change)
70,71,114,115
- 参政権 (political rights) 20,21,
119
- 賛同者 (consenters) 35,105
- ジェイムズ, エステル (James,
Estelle) 144
- ジェンソン, ジェイン (Jenson,
Jane) 65,89,97,142,155
- ジェンダー差別的家族主義 (gen-
dered familialism) 101
- ジェンダーと福祉レジーム (gender
and welfare regimes) 49
- ジェンダー平等 (gender equality)
88,89,95,96,102,104,116,125,
138,146,148
- パパクオータ (daddy quotas)
103
- 保育 (child care) 88
- ジェンダー平等指標 (gender equal-
ity index) 104
- ジェンダー不平等 (gender inequal-
ity) 22,89,109
- 仕事 (work) 15,45,46,50,51,
68,90,97,99,109,112,152
- 仕事と家族生活 (work and family
life) 51,52,86,89,106,115,
133
- 仕事と女性 (work and women)
97
- 仕事と福祉 (work and welfare)
50
- 市場経済 (market economies)
35,81,112
- 市場資本主義 (market capitalism)
7-11
- シション, マイケル (Cichon,
Michael) 149
- 持続可能な開発目標 (Sustainable
Development Goals, SDGs)
148,154
- 失業 (unemployment) 8,15,
21,33,59,68,74,82,84,87,112
- 失業保険 (unemployment insurance)
90,139
- 児童手当 (child allowances) 54,
124
- 自動的金本位制 (automatic gold
standard) 9
- 資本主義 (capitalism) 2,7-12,
20,21,32,44,55,56,121,165
- 資本主義的な階級不平等 (capitalist
class inequality) 20,21
- 資本主義の多様性 (Varieties of
Capitalism) 35,105,115
- 市民権 (citizenship) 7,18-22,
44,49,51,111,121,124,127-
130,132,146
- 「市民権と社会階級」(マーシャル)
(‘Citizenship and social class’
(Marshall)) 19,22
- シーム, ビイルテ (Siim, Biirte)
125
- 社会運動 (social movements)
66,72,116,145,146,153,161

- 社会開発サミット (Social Development Summit) 148, 149
- 社会経済保障に関する焦点プログラム (InFocus Programme on Socio-Economic Security) 149
- 社会権 (social rights) 4, 5, 20, 21, 60, 100, 119, 129, 135, 136, 138, 141
- 社会サービス (social services) 21, 47, 48, 86
- 社会支出 (social spending) 16, 31, 88, 123
- 社会政策の変化 (social policy change) 65, 66, 68, 70, 72, 74, 77-79, 86, 92, 96, 159, 163, 164
- 社会対話 (social dialogue) 152
- 社会ダーウィニズム (social Darwinism) 13, 125
- 社会的欧州 (Social Europe) 83
- 社会的公正 (social equity) 116
- 社会的投資 (social investment) 5, 70, 76, 81, 87-93, 107, 137, 140, 142, 143
- 社会的排除 (social exclusion) 5, 76, 81-86, 89-93
- 社会的排除と戦う欧州政策観測拠点 (European Observatory on Policies to Combat Social Exclusion) 83
- 社会的不平等 (social inequality) 19, 56
- 社会的包摂 (social inclusion) 70, 84, 161
- 社会統合 (social integration) 12, 82, 83
- 社会年金 (social pensions) 3, 146, 149
- 社会パラダイム (societal paradigms) 65
- 社会扶助 (social assistance) 13, 54
- 『社会分業論』(デュルケーム) (*The Division of Labour in Society* (Durkheim)) 11
- 社会保険 (social insurance) 14, 18, 19, 33, 34, 43-47, 51, 52, 58-60, 110, 146, 149
- 階級の影響 18, 44
- 定義 14
- ビスマルク型 14, 46, 58, 149
- 社会保護 (social protection) 9, 12, 14, 20, 25, 53, 63, 85, 113, 143, 144, 147-149, 155
- 社会保護機関間協力委員会 (Social Protection Inter Agency Cooperation Board, SPIAC-B) 151
- 社会保護フロア (社会保護の床) (social protection floor) 148-150
- 社会保障 (social programs) 4, 7, 10, 12, 16-19, 22, 25-27, 29, 33-35, 38, 44, 48-52, 54, 55, 76, 77, 81, 84, 86-88, 90, 97, 123, 128-130, 137, 150, 154, 161

- 社会保障の移転可能性 (social security transferability) 152
 社会保障法 (1935年, 米国) (Social Security Act) 34
 社会民主主義 (social democracy) 32, 48, 74, 75, 91, 111, 114, 140
 社会民主主義諸国 (social democratic countries) 105
 社会民主主義レジーム (social democratic regimes) 3, 43-48, 52, 59, 86, 96, 102, 110, 120, 123, 125, 128
 移民統合 123
 定義 43
 福祉排外主義 128
 宗教 (religion) 120, 160
 『宗教, 階級連合, 福祉国家』(ファンケルスベルヘンとマノウ) (*Religion, Class Coalitions, and Welfare States* (van Kersbergen and Manow)) 160
 宗教政党 (religion-based parties) 46
 集合行為 (collective action) 92
 自由市場 (free markets) 8, 9
 自由市場経済 (liberal market economies) 35
 自由主義-インフォーマルレジーム (liberal-informal regime) 61
 自由主義レジーム (liberal regimes) 3, 43-46, 48, 50-54, 59, 102, 103, 110, 118, 124, 125, 128
 定義 43
 福祉排外主義 128
 自由貿易 (free trade) 8, 9, 146
 自由放任 (laissez-faire) 8-11, 26, 44, 59, 81, 98
 収斂 (convergence) 43, 107
 自由労働市場 (free labour market) 9
 儒教的福祉レジーム (Confucian welfare regime) 60
 主唱者 (protagonists) 35, 105, 106
 シュトレック, ヴォルフガング (Streeck, Wolfgang) 111
 シュミット, ヴィヴィアン (Schmidt, Vivien) 77
 条件付現金給付 (CCTs, conditional cash transfers) 3, 54, 58, 61, 62, 139, 143, 149, 153
 小選挙区制 ('first-past-the-post' electoral system) 120
 商品化 (commodification) 57, 97, 99, 113
 女性 (women) 2, 21, 42, 50-53, 60, 76, 86-89, 95, 97-99, 101, 103, 104, 108, 109, 112, 125, 127, 147
 移民女性 108, 113
 ケア提供者としての女性 53
 仕事と家族生活の両立 51, 86
 労働市場参加の増加 52, 89
 女性ケア提供者支援 (supportive of the female caregiver) 53,

- 103
- 所得税の児童扶養控除 (income tax child allowances) 17
- 所得代替 (income replacement) 33
- 所得不平等 (income inequality) 84,85
- 所得保障 (income security) 145,149
- ジョーンズ, キャスリン (Jones, Catherine) 59
- 自律 (autonomy) 13,52,55, 99,112
- 資力調査付きの公的扶助 (means-tested social assistance) 43-45,51
- シンクタンク (think tanks) 5, 40,66,67,146
- 新自由主義 (neoliberalism) 48, 70,74,81,84,88,89,91,107, 109,122,130,135-137,140,142, 144,145,148,152
- 人種差別 (racism) 76,82,110, 131
- 人種多様性 (racial diversity) 2,4,117,118,121,130
- 陣地戦 (war of position) 136, 142,146,155
- 人的資本 (human capital) 88, 90,113
- 推進者 (promoters) 105,106
- スイス (Switzerland) 119,120
- スウェーデン (Sweden) 4,14, 18,25,35,43,46,50,53,74,90, 102,104,111,112,116,120-122, 125,132
- 家事サービスの奨励 111
- サービス部門 46
- 多文化主義 122
- 共稼ぎ共ケアモデル 53,104
- 共稼ぎモデル 50
- スウェンソン, ピーター (Swenson, Peter) 34
- スケール横断的 (multi-scalar) 147,149,150,164,165
- スコチボル, シーダ (Skocpol, Theda) 36,37
- スコットランド (Scotland) 129, 131
- スコットランド国民党 (Scottish National Party) 129
- スタンディング, ガイ (Standing, Guy) 149
- ステイーヴンス, ジョン (Stephens, John D.) 40,105
- スティグリッツ, ジョセフ (Stiglitz, Joseph) 145
- スティーンズランド, ブライアン (Steensland, Brian) 75
- スピーナムランド法 (Speenhamland Law) 8
- スペイン (Spain) 4,111,129, 137,138
- スミス, アダム (Smith, Adam) 12
- スロバキア (Slovakia) 59

- スロベニア (Slovenia) 59
- 西 欧 (Western Europe) 4, 10, 11, 18, 25, 42, 53, 116-118, 122
- 制限的なレジーム (restrictive regime) 125
- 政策アイデアの普及 (diffusion of policy ideas) 82, 90, 91, 141-143, 146
- 政策遺産 (policy legacies) 36-38, 73, 78, 106
- 政策パラダイム (policy paradigms) 5, 54, 66, 67, 69-71, 74, 88
- 政策評価 (policy evaluation) 91
- 政策フィードバック (policy feedback) 39, 164
- 政策変化 (policy change) 65, 68, 70, 72, 77, 78, 92, 96, 163, 164
- 政策問題 (policy problems) 67, 68, 70, 125
- 生産主義福祉レジーム (productivist welfare regime) 60
- 政治空間 (political space) 142
- 政治制度 (political institutions) 35-38, 77, 119-121
- 政治的機会構造 (political opportunity structures) 37, 39, 106-108, 115, 139, 154
- 政治的言説 (political discourse) 73, 77, 85, 125
- 性自認と性的指向 (sexual identity and orientation) 160
- 税 制 (taxation) 16, 17, 97, 100
- 生存権 (right to live) 8, 55
- 性別役割分業モデル (male breadwinner-female caregiver model) 3, 95, 103, 110
- セインズベリー, ダイアン (Sainsbury, Diane) 50, 51, 124, 125, 131
- セオドア, ニック (Theodore, Nik) 143
- 世界銀行 (World Bank) 61, 84, 92, 112, 130, 136, 142-146, 148, 150, 151, 153, 155, 166
- 世界社会開発サミット (コペンハーゲン) (World Summit for Social Development, Copenhagen) 148
- 世界社会フォーラム (World Social Forum) 146
- セーブ・ザ・チルドレン (Save the Children) 149
- セーフティネット (safety nets) 142
- ゼーライプ-カイザー, マーティン (Seeleib-Kaiser, Martin) 105, 114
- セレン, キャスリーン (Thelen, Kathleen) 78, 111
- 選挙制度 (electoral systems) 119
- 全国農村雇用保証制度 (インド) (National Rural Employment Guarantee Scheme (India)) 54

- 先住民 (indigenous peoples)
121-123, 125, 131-133, 147
- 先進国 (Global North) 3, 4, 42,
55, 56, 61, 92, 117, 122, 125, 126,
130, 133, 136, 151, 158
- 専門家ネットワーク (epistemic
communities) 141, 146
- 戦略的フレーム (strategic frames)
72, 73
- 送金 (remittances) 112
- 総ケア提供者パラダイム (universal
caregiver paradigm) 51, 102
- 相互依存 (interdependence)
11-13
- ソスキス, デイヴィッド (Soskice,
David) 35
- 租税回避地 (tax havens) 18
- ソマヴィア, ファン (Somavía,
Juan) 149, 150
- ソマーズ, マーガレット (Somers,
Margaret) 72
- ◆た 行
- 大恐慌 (Great Recession) 68
- 第三の道 (Third Way) 84
- 代替的地域主義 (alternative re-
gionalism) 146, 152
- 代替的地域主義に向けた民衆アジェ
ンダ (Peoples Agenda for Alterna-
tive Regionalisms, PAAR)
152
- 『大転換』(ポランニ) (*The Great
Transformation* (Polanyi))
8, 10
- 『大陸分割線』(リップセット) (*Con-
tinental Divide* (Lipset)) 28
- 台湾 (Taiwan) 54, 60
- ダーウィニズム (Darwinism)
13, 125
- 多極共存型民主主義 (consociational
democracies) 119, 120
- 多国籍企業 (transnational business)
146, 152, 153
- 多数派ナショナリズム (majority
nationalism) 127, 128, 131
- 脱家族化 (defamilialization) 52,
59, 60, 63, 96-98, 100, 113, 114,
116
- 脱クライアント化 (de-clienteliza-
tion) 55, 57, 61, 62
- 脱ジェンダー差別的家族主義 (de-
gendered familialism) 101
- 脱商品化 (decommodification)
41, 44, 45, 48, 51, 52, 55-57, 98,
113
- 脱成長 (de-growth) 146
- 多文化主義 (multiculturalism)
4, 118, 122-124, 127, 132, 133
- 多文化政策 (multicultural policies)
123
- 多様性 (diversity) 2, 4, 117-
123, 125, 130, 131
- ダロイト, バルバラ (Da Roit, Bar-
bara) 106, 107
- 男性稼ぎ手 (male breadwinners)
49, 50, 103, 114

- 地域開発銀行 (regional development banks) 152
- チェコ (Czech Republic) 59
- 地方単位 (sub-national units) 130, 153
- 地方ナショナリズム (sub-state nationalism) 4, 118, 128, 129, 131, 158
- 地方分権 (decentralization) 22, 38, 106, 130
- 中国 (China) 54, 137, 139, 142
- 中産階級 (middle class) 32, 33, 45, 46
- 中道右派政党 (centre-right parties) 61, 133, 139, 145
- 調整型市場経済 (coordinated market economies) 35
- 調整的言説 (coordinative discourse) 77
- チリ (Chile) 60, 61, 144, 145
- 賃金社会 (wage society) 9
- ツィン, アナ・ラウエンハウプト (Tsing, Anna Lauenhaupt) 144
- デーコン, ボブ (Deacon, Bob) 5, 58, 136, 140-142, 146, 147, 151, 152, 155
- ティトマス, リチャード (Titmuss, Richard) 2, 15-17, 22, 31, 44
- テイラー-グッビー, ピーター (Taylor-Gooby, Peter) 86
- デイリー, メアリー (Daly, Mary) 97, 98
- デュルケーム, エミール (Durkheim, Émile) 2, 11-13, 26
- テロリズム (terrorism) 126, 128
- デンマーク (Denmark) 14, 18, 111, 112, 125-128, 138
- デンマーク国民党 (People's Party (Denmark)) 126, 127
- 転用 (conversion) 78, 79
- ドイツ (Germany) 14, 15, 18, 35, 43, 46, 56, 58, 77, 103, 105, 106, 110, 125, 126, 138
- 育児休業 103
- 移民労働者 110
- 金融危機の影響 138
- 調整的言説 77
- 難民危機 126
- 東欧 (Eastern Europe) 58, 59, 112, 144
- 統治性アプローチ (governmentality approach) 77
- 閉じた政治的機会構造 (closed political opportunity structures) 107
- 途上国 (Global South) 2, 3, 4, 17, 42, 47, 55, 56, 61, 92, 112, 117, 130, 139, 150, 151, 154, 158, 164, 165
- ドムホフ, ウィリアム (Domhoff, William) 33, 34, 40
- 共稼ぎ家族 (adult earner family) 3, 50, 53, 95, 97, 100, 102-105, 114
- 共稼ぎ共ケアモデル (earner-carer

- model, dual breadwinner/dual caregiver model) 53, 100, 102-105, 109
- トランプ, ドナルド (Trump, Donald) 126, 128
- トーリーイズム (Toryism) 29
- ドロール, ジャック (Delors, Jacques) 83
- ◆な行
- ナショナリズム (nationalism) 118, 127-129, 131, 135
- 南欧 (Southern Europe) 17, 47, 55, 57, 59, 62, 98, 106, 110, 116, 138, 154
- 南部アフリカ (southern Africa) 139
- 南部アフリカ民衆連帯ネットワーク (Southern African Peoples' Solidarity Network) 152
- 難民危機 (refugee crisis) 126, 160
- 二次的变化 (second order change) 70, 71, 115
- 二重構造レジーム (dualist regime) 56, 61
- ニース欧州理事会 (Nice European Council) 83
- 2008年の金融危機 (2008 financial crisis) 109, 136, 137, 150, 154
- 日本 (Japan) 35, 53, 54, 59, 60, 103, 106, 107, 137, 139, 165
- ニュージーランド (New Zealand) 4, 11, 42, 43, 47, 53, 118, 120
- ニューディール (New Deal) 23, 35, 118
- 人間開発指標 (human development index) 57
- 認知的固定装置 (cognitive locks) 69
- 年金 (pensions) 3, 15, 29, 46, 47, 54, 59, 78, 98, 124, 144-146, 149
- 農民 (farmers) 18, 32, 45, 56
- ノルウェー (Norway) 43, 53, 102, 104, 111, 120, 121
- ◆は行
- ハイエク, フリードリヒ (Hayek, Friedrich) 11
- 排除的レジーム (exclusionary regime) 61
- ハイブリッドレジーム (hybrid regime) 54, 59, 114
- パウエル, マーティン (Powell, Martin) 62
- パヴォリーニ, エマヌエーレ (Pavolini, Emmanuele) 138
- ハウスホルドワーカーズ・ワールドワイド (Household Workers Worldwide) 146
- ハガード, ステファン (Haggard, Stephan) 58
- パダムゼ, タスリーム (Padamsee, Tasleem) 72
- バチェレ報告 (Bachelet report)

- 150
- ハッカー, ジェイコブ (Hacker, Jacob) 34, 36, 59, 78
- ハドソン, ジョン (Hudson, John) 153
- パナマ文書 (Panama Papers) 18
- パバクオータ (daddy quotas) 103, 104, 115
- パラダイムシフト (paradigm shifts) 70, 71, 78
- バリエントス, アーマンド (Barrientos, Armando) 60
- パルメ, ヨアキム (Palme, Joakim) 142
- パレンガー-メレンベック, イーファ (Palenga-Möllenbeck, Ewa) 113
- 反移民政党 (anti-immigration parties) 127
- ハンガリー (Hungary) 59
- 半球社会連合 (ラテンアメリカ) (Hemispheric Social Alliance (Latin America)) 152
- 反対者 (antagonists) 35, 105
- バンティング, キース (Banting, Keith) 118-120, 123, 128, 131
- ピアソン, ポール (Pierson, Paul) 34, 36, 38, 39, 48, 49, 136, 139
- ピケティ, トマ (Piketty, Thomas) 161
- ビスマルク, オットー・フォン (Bismarck, Otto von) 14, 46, 58, 149
- 一人半の稼ぎ手家族 (one and a half earner family) 105
- ヒューバー, エヴリン (Huber, Evelyne) 40, 105
- ヒューム, デイヴィッド (Hulme, David) 148
- 平等 (equality) 14, 19, 21, 59, 70, 96, 109, 148, 160, 165
→ジェンダー平等も参照
- 漂流 (policy drift) 78, 79, 87
- 開かれた政策調整方法 (open method of coordination) 83, 93
- 開かれた政治的機会構造 (open political opportunity structures) 106
- 比例代表制 (proportional representation) 119
- 貧困 (poverty) 5, 8-10, 13, 18, 32, 44, 54, 76, 77, 83-85, 87, 112, 119, 123, 124, 135, 142, 143, 145, 147, 148
- 貧困ネットワーク (POV-Net) 149
- ファウ-エフィンガー, ビルギット (Pfau-Effinger, Birgit) 75
- ファンケルスベルヘン, キース (Van Kersbergen, Kees) 138, 160
- ファンズワース, ケヴィン (Farnsworth, Kevin) 137
- 不安レジーム (insecurity regimes)

- 57
 フィッシュ, ジェニファー (Fish, Jennifer) 146
 フィッツパトリック, トニー (Fitzpatrick, Tony) 160
 フィルゲイラ, フェルナンド (Filgueira, Fernando) 56, 57, 60, 61, 63
 フィンランド (Finland) 44, 53, 102, 104, 111, 149
 フェミニスト (feminists) 3, 42, 44, 49-53, 55, 63, 68, 89, 95-105, 157
 脱家族化 (defamilialization) 52, 96, 97
 フェラジーナ, エマヌエーレ (Ferragina, Emanuele) 114
 フェレーラ, マウリツィオ (Ferrera, Maurizio) 47, 106
 フォーマル部門 (formal sector) 61, 116, 149
 フォングリスチェンスキ, モーリツ (Von Gliszczynski, Moritz) 141
 『福祉国家と平等』(ウィレンスキー) (*The Welfare State and Equality* (Wilensky)) 26
 福祉国家の発展 (welfare state development) 4, 5, 23, 25-40, 65, 78, 118-121, 133, 159, 160
 『福祉国家の発展と危機』(ヒューバーとステイヴンス) (*Development and Crisis of the Welfare State* (Huber and Stephens)) 40
 『福祉国家論集』(ティトマス) (*Essays on 'The Welfare State'* (Titmuss)) 15
 『福祉資本主義の3つの世界』(エスピング-アンデルセン) (*The Three Worlds of Welfare Capitalism* (Esping-Andersen)) 3, 7, 33, 40-51, 118
 福祉の細分化 (welfare fragmentation) 14, 15, 43, 47, 58
 福祉排外主義 (welfare chauvinism) 4, 128
 福祉レジーム (welfare regimes) 3, 40-63, 95, 96, 102-104, 110, 111, 113-120, 122-125, 128, 132, 136, 157, 164, 166
 福祉和解 (welfare settlement) 115
 フクダ-パー, サキコ (Fukuda-Parr, Sakiko) 148
 福利厚生 (occupational benefits) 15, 16
 フーコー, ミシェル (Foucault, Michael) 77
 「2つの省」命題 ('two ministries' thesis) 147
 不平等 (inequality) 5, 7, 14, 16, 18-21, 30, 44, 54, 56, 84, 85, 109, 123, 142, 147, 148, 153, 161, 165
 普遍主義 (universality) 19, 25, 32, 59-61, 83, 111, 149, 154

- 普遍主義的 (universal) 18, 19,
 29, 31, 33, 38, 43-47, 91, 102,
 109, 121, 129, 142, 148
 ブライス, マーク (Blyth, Mark)
 69
 ブラジル (Brazil) 54, 56, 61, 62,
 142, 153
 フランス (France) 13-15, 35,
 50, 65, 67, 82, 83, 92, 125, 127
 フランドル民族主義者 (Flemish
 nationalists) 129
 ブルジョアジー (bourgeoisie)
 30
 ブルジョワ, レオン (Bourgeois,
 Léon) 13
 フレイザー, ナンシー (Fraser,
 Nancy) 51, 68, 102
 フレッケンシュタイン, ティモ
 (Fleckenstein, Timo) 105,
 106
 ブレナン, デボラ (Brennan, De-
 borah) 106
 ブレナン, ブリッド (Brennan,
 Brid) 152
 フレーミング過程 (framing proces-
 ses) 66, 67, 72-75, 79, 125,
 126, 141, 159
 プログレサ (PROGRESA) 58,
 61, 63, 139
 ブロックマン, グレアテ (Broch-
 mann, Grete) 120
 プロナソル (PRONASOL) 58
 プロフィールド, メリケ (Blofield,
 Merike) 115
 文化的価値観 (cultural values)
 28, 75
 分業 (division of labour) 12
 米国 (United States) 4, 15,
 16, 23, 25, 27, 29, 33-35, 37, 38,
 40, 43, 46, 48, 53, 65, 67, 75, 76,
 88, 102, 103, 117-120, 124-126,
 131, 137, 138, 142, 145, 155
 育児休業 103
 医療 29, 65
 サービス部門 46
 社会保障 76
 人種的分断の影響 118
 共稼ぎ家族 53
 2008年の金融危機 137
 密かな社会政策の拡大 138
 文化の影響 75
 法人リベラリズムモデル 33
 包摂的移民受入レジーム 125
 民間の給付とサービス 16
 連邦制の影響 38, 120
 老齢社会保障制度 145
 『兵士と母親を保護する』(スコチポ
 ル) (*Protecting Soldiers and
 Mothers* (Skocpol)) 37
 併設 (layering) 78, 79
 ベヴァリッジ, ウィリアム
 (Beveridge, William) 19
 ベーシックインカム (basic income)
 153, 161
 ベストプラクティス学習 (best prac-
 tice learning) 93, 135, 152

- ペソ危機 (peso crisis) 139
- ベック, ジェイミー (Peck, Jamie) 143
- ベラン, ダニエル (Béland, Daniel) 10, 13, 14, 19, 23, 25, 29, 39, 46, 55, 66, 67, 72, 74-76, 82-85, 87, 91, 127, 129, 145, 161, 163, 166
- ベルギー (Belgium) 4, 14, 119, 120, 129
- ヘルプエイジ・インターナショナル (HelpAge International) 145, 149
- ベング, イト (Peng, Ito) 60, 107, 139
- 保育 (child care) 4, 50, 53, 60, 86, 88-90, 99, 102-107, 109, 111, 116, 130, 164
- 法人リベラリズムモデル (corporate liberalism model) 33, 34
- 方法論的ナショナリズム (methodological nationalism) 2, 5, 135
- 補完性 (subsidiarity) 46, 59, 130
- 北欧諸国 (Nordic countries) 19, 25, 48, 53, 90, 96, 102, 104, 105, 111, 115, 120, 130
→デンマーク, フィンランド, ノルウェー, スウェーデンも参照
- ボーコースト, アネッテ (Borchorst, Anette) 125
- 保守主義-インフォーマルレジーム (conservative-informal regimes) 60
- 保守主義レジーム (conservative regimes) 3, 43-47, 50, 53, 54, 59, 62, 96, 103, 104, 124, 125, 128
- 育児休業 103
- 移民統合 124
- 『ポスト工業経済の社会的基礎』(エスピン-アンデルセン) (*Social Foundations of Postindustrial Economies* (Esping-Andersen)) 3, 41, 52, 56, 96, 97, 102, 105, 109, 114
- ホックシールド, アーリー (Hochschild, Arlie R.) 108
- ボノーリ, ジュリアーノ (Bonoli, Giuliano) 86, 87, 92, 102
- ボランタリズム (voluntarism) 14
- ポーランド (Poland) 59
- ポランニ, カール (Polanyi, Karl) 2, 8-11, 26, 44, 98
- ボリス, アイリーン (Boris, Eileen) 146
- ホリデイ, イアン (Holliday, Ian) 60
- ホール, ピーター (Hall, Peter A.) 35, 69, 70, 71, 114
- ホルツマン, ロバート (Holzmann, Robert) 145
- ボールドウィン, ピーター (Baldwin, Peter) 14
- ポルトガル (Portugal) 137, 138
- ホワイトサイド, H (Whiteside, H.) 140

- 香港 (Hong Kong) 54,60
- ◆ま 行
- マイオニ, アントニア (Maioni, Antonia) 38
- マイルズ, ジョン (Myles, John) 48
- マオリ人 (Maori) 120,121
- マクドナルド, ローラ (Macdonald, Laura) 108
- マクブライド, スティーヴン (McBride, Stephen) 137
- マクロクリン, エスナ (McLaughlin, Eithne) 52,63
- マコヴェイ, マリア・クリスティーナ (Macovei, Maria Cristina) 152
- 摩擦 (friction) 144,159
- マーシャル, T. H. (Marshall, T. H.) 2,19-22,44
- マネタリズム (monetarism) 70
- マノウ, フィリップ (Manow, Philip) 160
- マホン, リアン (Mahon, Rianne) 83,88-90,92,104-107,133,143,147,156,164
- マルティネス-フランソニー, フリアナ (Martínez-Franzoni, Juliana) 113,115
- マレス, イザベラ (Mares, Isabela) 35
- ミッチェル, デボラ (Mitchell, Deborah) 47,48
- 南アフリカ (South Africa) 54
- ミュルダール, アルヴァ (Myrdal, Alva) 90
- ミュルダール, グンナー (Myrdal, Gunnar) 90
- ミラノヴィッチ, ブランコ (Milanovic, Branko) 161
- 民営化 (privatization) 86,144-146,152
- 民族的多様性 (ethnic diversity) 2,4,117,118,120,121,130
- 無償労働 (unpaid work) 4,42,49,50,98,100,102
- ムスリム (Muslim) 125-128
- メキシコ (Mexico) 54,56,58,61,108,139,155
- メツケ, マルギッタ (Mätzke, Margitta) 106-108
- もう一つの欧州 (Another Europe) 152
- もう一つのグローバル化 (alter-globalization sites) 146
- モーガン, キンバリー (Morgan, Kimberly) 103,105,107
- モレル, ナタリー (Morel, Nathalie) 89,90
- 問題定義 (problem definitions) 5,66-68,76,139
- ◆や 行
- 有機的連帯 (organic solidarity) 12
- ユーゴー, ヴィクトル (Hugo, Vic-

- tor) 18
- ユーロ圏 (Eurozone) 137
- 幼児政策 (early childhood policies) 143
- ◆ら 行
- ライザリング, ルッツ (Leisering, Lutz) 141
- ライトナー, ジーグリット (Leitner, Sigrid) 100, 101, 106
- ラグラム, パールヴァティ (Raghuram, Parvati) 113
- ラテンアメリカ (Latin America) 42, 53, 57, 58, 60, 61, 90, 103, 111, 113, 121, 132, 133, 139, 152, 156
- アルゼンチン, ブラジル, メキシコも参照
- ラトビア (Latvia) 59
- リー, スヒョン・クリスティン (Lee, Soohyun Christine) 106
- リスター, ルース (Lister, Ruth) 52, 63, 96
- リスボン欧州理事会 (Lisbon European Council) 83
- リトアニア (Lithuania) 59
- 理念型 (ideal types) 22, 50, 51, 115
- リップセット, シーモア・マーティン (Lipset, Seymour Martin) 28, 29
- リプロダクティブヘルス (reproductive health) 148, 155
- リムリンガー, ガストン (Rimlinger, Gaston) 65
- ルイス, ジェイン (Lewis, Jane) 49, 97-99
- ルッツ, ヘルマ (Lutz, Helma) 113
- ルノワール, ルネ (Lenoir, René) 82
- ルボー, C・N (Lebeaux, C. N.) 43
- レヴィーン, ダニエル (Levine, Daniel) 28, 65, 75
- レーガン, ロナルド (Reagan, Ronald) 88
- 歴史的制度論 (historical institutionalism) 25, 33, 35-41, 58, 66, 106
- 『レ・ミゼラブル』(ユーゴー) (*Les Misérables* (Hugo)) 18
- 連合形成 (coalition building) 45, 73, 82, 91, 92
- 連帯 (solidarity) 4, 7, 11-15, 18, 19, 22, 59, 70, 74, 83, 90, 98, 118, 152
- 『連帯』(ブルジョワ) (*Solidarité* (Bourgeois)) 13
- 連邦国家 (federal states) 119, 130
- レーン-メイドナー経済政策モデル (Rehn-Meidner economic policy model) 90
- 労働組合 (unions) 2, 10, 27, 30-

- 32, 37, 45, 46, 52, 77, 79, 105, 109, 116
- 労働市場 (labour market) 9, 31, 42, 52, 56, 82, 86, 89, 90, 95, 97, 102, 104, 122, 145
- 労働者階級 (working class) 10, 14, 18, 30-33, 45, 46, 87
- 労働党政権 (イギリス) (Labour government (UK)) 19
- 『老年危機を回避する』(世界銀行) (*Averting the Old Age Crisis* (World Bank)) 144
- ロプライテ, デボラ (Lopreite, Debora) 108
- ◆わ行
- ワイタンギ条約 (Treaty of Waitangi) 120
- ワロン (Wallonia) 129

著者紹介 ダニエル・ベラン (Daniel Béland)
マギル大学教授

リアン・マホン (Rianne Mahon)
カールトン大学特別研究名誉教授

訳者紹介 上村泰裕 (かみむら やすひろ)
名古屋大学准教授

社会政策の考え方

現代世界の見取図

Advanced Introduction to Social Policy

2023年5月30日 初版第1刷発行

著者 ダニエル・ベラン, リアン・マホン

訳者 上村泰裕

発行者 江草貞治

発行所 株式会社有斐閣

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

<https://www.yuhikaku.co.jp/>

装丁 吉野 愛

印刷 株式会社三陽社

製本 大口製本印刷株式会社

装丁印刷 株式会社享有堂印刷所

落丁・乱丁本はお取替えいたします。定価はカバーに表示してあります。

© 2023, Yasuhiro Kamimura.

Printed in Japan. ISBN 978-4-641-17487-0

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

JCOPY 本書の無断複写(コピー)は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(一社)出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail:info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。